

# 施策評価シート（平成28年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	4-1	政策名	地域主体のまちづくり	政策の目指す姿	個性あふれる地域づくりが活発に行われています	施策主管課	地域づくり課	施策主管課長名	佐藤 多恵子
	施策No.	2	施策名	コミュニティ会議の基盤強化	施策の目指す姿	コミュニティ会議を中心に、自主的な地域づくり活動を行っています	関係課名	総合支所地域支援室		
	<b>現状と課題</b> ・地域の主体的なまちづくりを進めるための基本となる区域として、27のコミュニティ地区を置いています。地区内にはコミュニティ会議が組織され、コミュニティ会議が主体となって地区の長期的な将来像を占める「地区ビジョン」に基づき、住民主体の地域づくりが進められています。 ・各コミュニティ会議では、地区内の生活環境整備のほか、3世代交流事業や郷土芸能の発表、6次産業化への取り組み等、地域の特色を生かした個性あふれる事業が展開されています。									

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1) 自主的な地域づくり活動の活性化 ○地域づくり交付金の交付 ・27コミュニティ会議に対し総額198,709千円の地域づくり交付金を交付 ○情報交換会や研修会等の開催 ・「コミュニティ会議と市との協議の場」において、今後の地域づくりのしきみのあり方について協議(全体1回、各地域1回) ○コミュニティ会議の改善検討と組織基盤確立のための支援 ・「コミュニティ会議と市との協議の場」における改善検討、地域支援室における庁内横断的なコミュニティ会議の支援 ○コミュニティ会議の活動内容の広報 ・市広報及び市HPによるコミュニティ会議の活動紹介
---

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
地域の総課題件数のうち、地域で課題解決した件数の割合	地域が自ら課題に取り組んで解決した課題の割合を示す指標	コミュニティ会議に聴き取りをし、地域(コミュニティ会議を構成する自治会や専門部会)からの課題件数(事業要望数)と解決件数(事業実施した件数)を把握し集計する。	%	目標値				75.0	75.0	75.0
				実績値	65.0	72.0	76.0	79.0	81.0	81.0
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	■成果指標「地域の総課題件数のうち、地域で課題解決した件数の割合」・・・【達成度 a】 コミュニティ会議への地域づくり交付金の交付が始まったH19には47.5%だったが、H27、H28には81.0%と地域での課題解決割合が増えていることから、地域のことは地域で課題解決する力がついてきているものと考えられる。地域課題の把握の仕方は地域によって違いはあるものの、地域住民から挙げられた地域課題のうち優先順位の高いものから事業を採択し、着実に執行している結果と考えられる。

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	地域づくり活動推進事業	地域づくり課	A	B
	地域づくり交付金の交付(27コミュニティ会議へ198,709千円)			
2	情報交換会の開催	地域づくり課	A	-
	市内4地区(宮野目・外川目・好地・成島)コミュニティ会議において、ワークショップによる成果と課題の振り返りの結果を各地域、全体で共有した。			
3	コミュニティ会議の改善検討と組織基盤確立のための支援	地域づくり課	A	-
	コミュニティ会議と市との協議の場において改善検討し、地域支援室による市内横断的なコミュニティ会議の支援を行った。			
4	コミュニティ会議の活動内容の広報	地域づくり課	A	-
	市広報や市ホームページでコミュニティ会議の活動紹介を行った。(12回)			
5	地域支援室業務	地域づくり課	A	-
	地域課題解決に向け、アドバイスや市の担当部署とともにコミュニティ会議に対する支援業務を行った。			
6	研修会の開催	地域づくり課	A	-
	コミュニティ会議研修会を開催し、地域づくりの先進事例や対話による地域づくりの重要性について学んだ。(2回)			

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)  
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

なし

(新たに取り組むべき事業はないか)

なし

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・コミュニティ会議による地域づくりへの幅広い世代による参加が少ない。
- ・コミュニティ会議の運営を担う人材が不足している。

(今後の方向性)

- ・コミュニティ会議における活動へ幅広い住民の意見を吸い上げるためにも、ワークショップ等の「対話」を取り入れる仕組みを構築する。
- ・地域づくりの先進事例を研究し、より一層の地域づくりの推進を図る。
- ・地域づくり交付金のあり方については、コミュニティ会議との協議を継続し、より良い地域づくりの仕組みを構築する。